

活動アルバム

MORIYA ALBUM



PROFILE 福岡県議会議員 もりやまさと

昭和40年 6月21日 / 福岡市生まれ
昭和59年 西南学院高等高校卒業
平成元年 西南学院大学商学部商学科卒業
平成8年 近畿日本ツーリスト(株)入社
平成16年 (株)九電ビジネスフロント入社
平成19年 県議会議員初当選
平成23年 県議会議員2期目当選
平成27年 県議会議員3期目当選

県民生活・商工委員会委員長
生涯健康安心社会調査特別委員会委員
福岡県日本米友好議員連盟副会長
民主党県政クラブ県議団幹事長
福岡県信用保証協会理事
九州電力総連組織内議員
西南学院高等学校同窓会評議員
ホークスを応援する会理事
福岡県青少年問題協議会委員
青少年アンビシャス運動推進本部本部員
(公財)福岡県国際交流センター理事

〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-10
TEL 092-851-3679
FAX 092-851-3670
e-mail : macmac0621_1965@mail.goo.ne.jp



県政報告 守谷正人

MORIYA REPORT

2016 Vol.29

福岡県新年度予算 1兆8,026億円、2月補正(221億円)

■雇用創出・子どもの貧困対策・TPP対策などに重点

福岡県議会2月定例会は2月22日に開会しました。今議会、小川知事は一般会計総額で、6年連続で過去最大となる1兆8,026億円(前年比257億円増)の予算案と、国の経済対策を活用した15年度2月補正予算も提出、合わせて「14か月予算」とし、県予算は総額で1兆8,247億円となりました。

一方、この間取り組んできた財政改革では、今年度予算で「財政調整基金の取り崩しに頼らない財政運営」、「県債残高の圧縮」の二つの目標を一年前倒しで達成しています。

3月23日には本会議で予算案などの議案を採決し、閉会しました。



全会一致で2016年度一般系当初予算が成立しました。

県民生活・商工委員会 初代委員長就任へ

県議会の常任委員会「県民生活・商工委員会」の初代委員長に就任しました。これは福岡県部整条例「委員会条例の一部を改正する条例制定について」の議案が3月9日に提出され、全会一致で可決されたことによるものです。

引き続き、常任委員会の委員長として、NPO等との協働の推進及び生涯学習の振興、県民の文化及びスポーツの振興、男女共同参画社会の推進、安全・安心まちづくり及び消費者政策の推進、中小企業振興、先端成長産業の育成、観光振興、企業立地の推進などについて審査及び調査を積極的に行って参ります。



定期議会では3度登壇し、予算に関する常任委員長報告を行いました。

生涯健康安心社会調査特別委員会 開催

私が所属します生涯健康安心社会調査特別委員会では、高齢者や障害者など全ての県民が生涯健康で安心して暮らせる社会の実現に関する総合的な施策の推進を図るために高齢者対策、障害者対策について調査を行っています。

2月1日に「介護予防・生活支援の取り組みについて」等を議題とし、調査を行いました。

ホームページ上で政策や日々の活動をご紹介すると共に、県民の皆様のご意見ご質問を随时受付しております。

<http://moriya-masato.info/>

facebook.更新中

県政地域の声を
活かす!



新年度の予算概要について

～子どもの貧困対策・雇用創出・TPP～

2016年度一般会計当初予算は、総額1兆8,026億円と前年度を1.4%上回りました。

当初予算の主な柱は①子どもの貧困対策②TPPの大筋合意を受けた経済対策③若者の雇用創出の3点となっています。2019年度までの5年間に1万人の雇用を創出する県人口ビジョン・地方創生総合戦略を推進します。

■歳入

- 県税等は3年連続增收の8,307億円と過去最高額。景気の緩やかな回復基調に伴って企業の業績改善などを背景に法人事業税などが堅調に推移し、前年度比3.2%増へ。
- 財成調整等3基金の取り崩しは行わず、1977年度以来となる「繰入金なし」へ。
- 県債発行総額は2,235億円。臨時財政対策債を除く残高は2兆2,433億円へ。2012年と比較して780億円の圧縮。
- 財政改革推進プラン（2014年～2016年）の目標は達成。
- 県民1人あたりの借金は68万5,000円。

■歳出

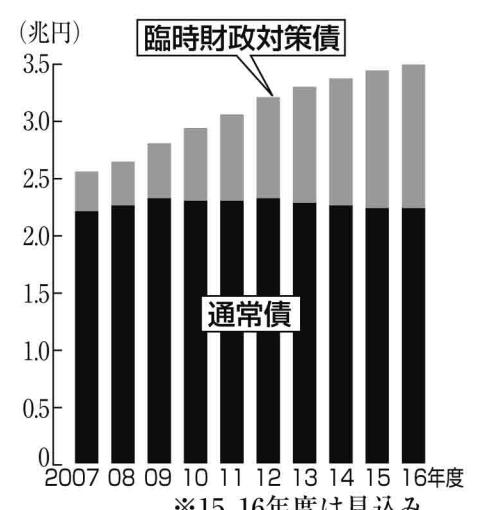
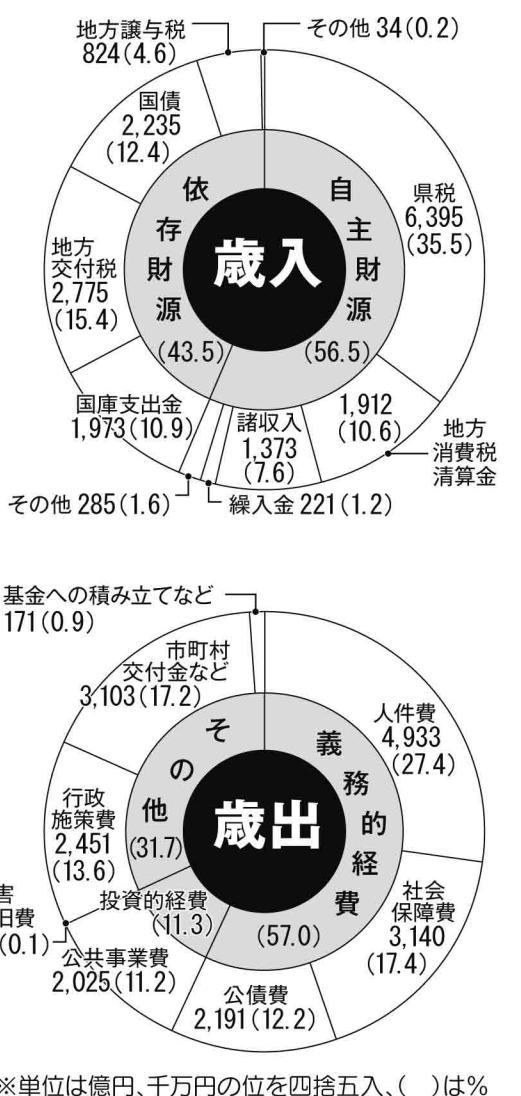
- 社会保障費や公債費が増加。人件費を合わせた義務的経費は歳出の6割へ。社会保障費は高齢化の進行に伴い、55億円（1.8%増）の3,140億円に膨らむ。社会保障費増加の内、後期高齢者医療負担金は前年度比16億円増の700億円へ。
- 景気の回復基調を後押しする公共事業費は、7.3%増の2,025億円。
- TPPを見据えた農林水産の競争力向上のために18事業に41億円を投入
- 災害への備えを強化するとして公共事業（道路整備、落石対策、水道施設の耐震化等）で前年度比137億円の増の2,025億円へ。

子どもの貧困対策

「教育・生活・保護者の就労、経済的支援の4本柱で全庁挙げて貧困対策の連鎖を打ち切ると小川知事が表明。「子ども支援オフィス」を県内4か所に設置。新規15事業34億円を設置、既存事業を含め計101事業709億円を計上。

子ども支援オフィス運営費	3,670万円
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	2億4,100万円
コンビニと連携した子どもへの食品提携事業	300万円
児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業	2億5,800万円

2016年度県一般会計当初予算案



委員会管内視察

「新社会推進商工委員会」の管内視察で筑後市の九州芸文館とベースボールパーク筑後、久留米市のダイハツ工業株式会社久留米開発センターを視察しました。

また、「生涯健康安心社会調査特別委員会」の管内視察では糸島市の「九州盲導犬協会総合訓練センター」、春日市の「介護実習・普及センター」、「生涯あんしん住宅」を訪問しました。

この様に委員会視察によって得られた現場の声を県政に活かすとともに、引き続き県民幸福度の向上に努めてまいります。



国際交流・バンコク訪問

福岡県タイ友好議員連盟の一員としてバンコクを訪問しました。今回は福岡消防学校の消防士2名が同行し、これまで本県から譲渡した消防車（中古）の使い方などの講習を行いました。これまで9台の消防車がタイ国で活躍しています。これにより少しでも火災等の災害が減る事を願っています。

併せて、環境に優しいごみ処理である「福岡方式」を提案し、将来的にタイ国に設置する方向となりました。タイ国のバンコク都と本県は来年で友好提携10周年を向かえます。



学生インターン生との活動

今年も2月から2か月間の日程で学生インターン生を事務所に迎え入れました。この制度を導入して早くも9年目が経過しました。今期も3名の学生とともに議会訪問や地域の活動と一緒に行いました。

今回の学生の政策テーマは「喫煙マナーについて」で、福岡市の喫煙マナーがなぜ良くならないのかなどを調査し、政策として発表しました。

この様な学生インターンシップの取り組みで少しでも政治が身近に感じて頂けると有難い限りです。

